

**CHAMP**

取扱書

**VELOBAL**

シートベルトをしめ、スピードを控えた安全運転を。

このたびはチャンプをお買上げいただき、ありがとうございます。

本書は、当社がキャンピングカーとして改造・架装した部分「キャンパー部」について、その内容と取扱い方法を説明したものです。

キャンピングカーは特有の装備・装置が施されており、万一取扱いを誤ると故障や事故の原因にもなりかねません。ご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、手引きとしてご活用ください。

なお、自動車部分（エンジン、足回り、運転席回り）については、「トヨタトラック取扱説明書」にもとづいてご使用ください。

本書は、「自動車検査証」、「整備手帳」、「トヨタトラック取扱説明書」と合わせて常に携帯してお使いください。

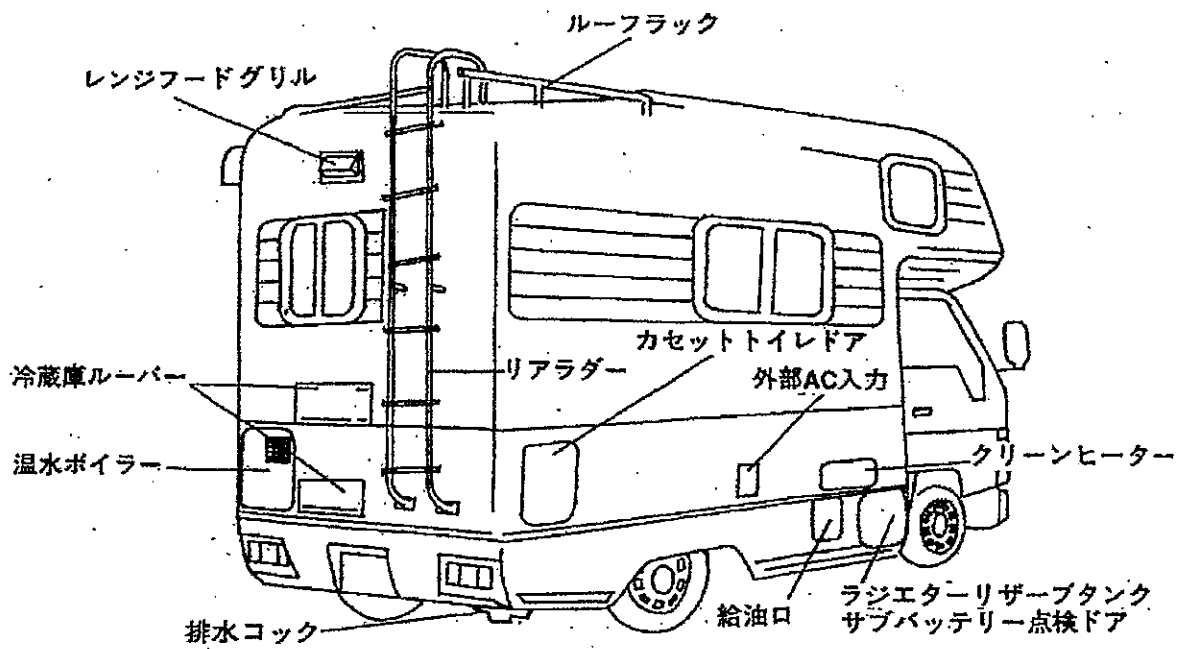
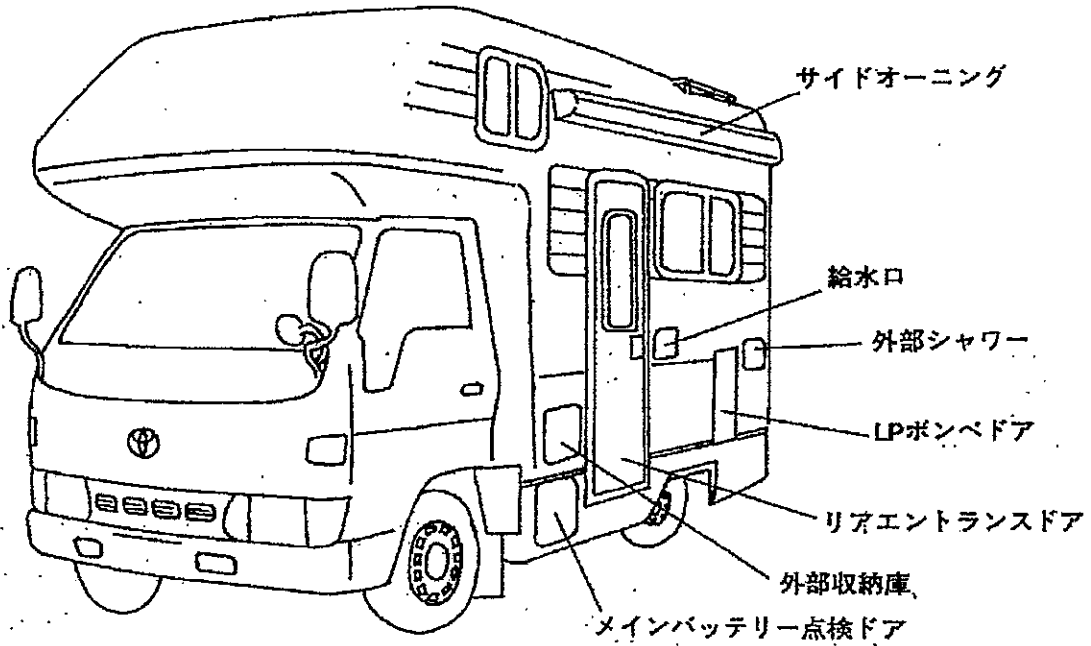
車をゆずられる際、次のオーナーのために本書を必ず車におつけ下さい。

車両の改良及び仕様の変更により本書の内容が車両と一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

## 目 次

主要構成・室内レイアウト……………	1	21	トイレ……………	25
外装品各部位と名称……………	2	22	シティウォーター接続……………	28
キャンパーの運転注意事項……………	3	23	バンクベッドの作り方……………	28
1 電源について……………	5	24	メインベッドの作り方……………	29
2 外部電源入力……………	6	25	各ウインドの開閉……………	30
3 ACバッテリーチャージャー……………	7	26	リヤードア……………	32
4 モニターパネル……………	7	27	サイドオーニング……………	34
5 照明器具……………	8	28	リヤラダー……………	36
6 ルーフベンチレーター……………	9	29	スベアータイヤ……………	37
7 レンジフード……………	10	30	サブバッテリーのメンテナンス……………	37
8 シャワールームベンチレーター……………	11	31	リアヒーター&クーラー……………	38
9 バッテリーテスター……………	12	32	出かける前の準備……………	39
10 ガスボンベ……………	13	33	走行中……………	41
11 LPアラーム……………	14	34	キャンプ地に到着したら……………	42
12 ガスコンロ……………	15	35	キャンプ中……………	42
13 クリーンヒーター……………	16	36	帰途……………	44
14 ウォーターヒーター（湯沸器）……………	17	37	帰宅したら……………	44
15 3 Way 冷蔵庫……………	18	38	夏のキャンプでとくに気を付ける事柄……………	45
16 水関連機器……………	20	38	冬のキャンプでとくに気を付ける事柄……………	45
17 給水タンク……………	21	40	強風雨時の注意事項……………	46
18 排水タンク……………	22	41	その他……………	46
19 キッチン蛇口……………	23	42	日頃の点検整備……………	47
20 シャワールーム……………	24	43	長期間使用しなかった時の手入れ……………	47
		44	故障かなと思った時の点検、処置……………	48

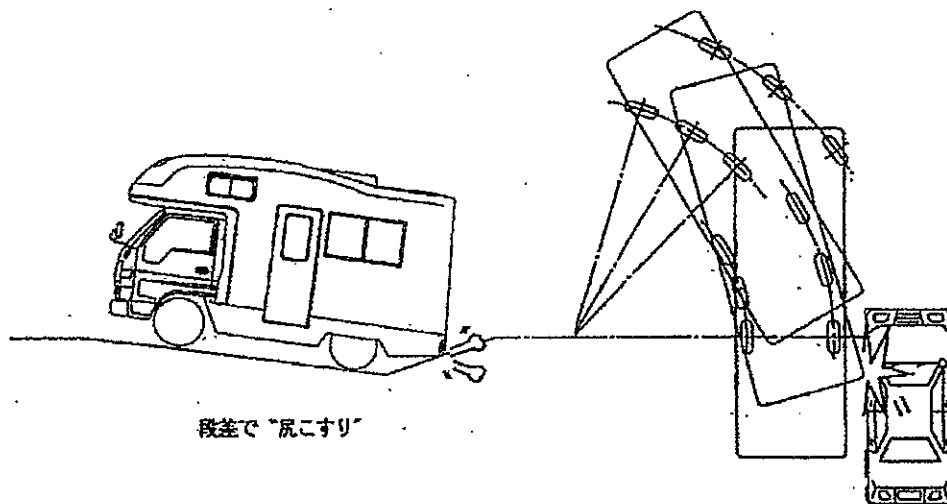
# 外装品各部位と名称



## キャンパーの皆様へ必ずお守りいただく事項・注意

1. 自動車（シャシー）に関する取扱いは「トヨタトラック取扱い説明書」をご覧ください。  
これをお守り下さい。
2. 走行中はガスの元栓を締めガス器具の使用は、絶対しないでください。
3. キャンピングカーは一般乗用車に比べ重心が高いため、走行中のローリング（横揺れ）や、ピッチング（縦揺れ）が大きくなります。  
また、車体の表面積が大きく、横風の影響を受けやすいので高速走行時などにおいて十分配慮の上、安全運転に心掛けて下さい。
4. この車は一般車両に比べてリアオーバーハング（後車輪から最後部までの寸法）が長くなっています。  
このため、段差のある場所や急角度ハンドルでの運転について十分注意して運転して下さい。

リアオーバーハングが長いため「尻こすり」や「尻ぶつけ」に注意！

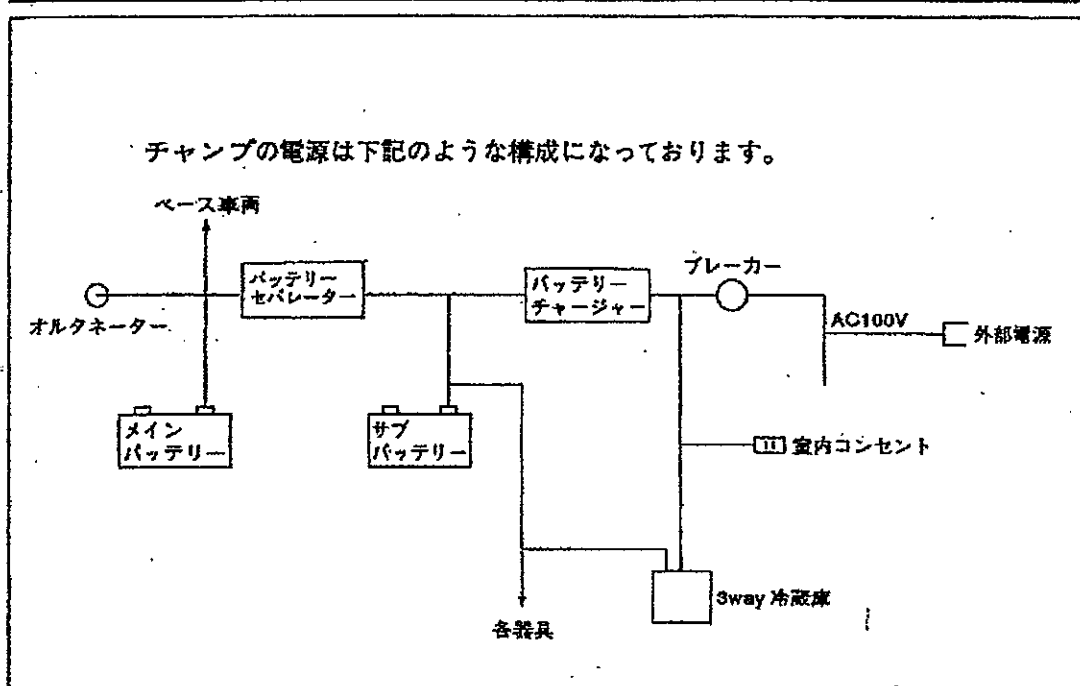


段差で「尻こすり」

隣りのクルマに「尻ぶつけ」

5. 走行中は、転落事故防止のためお子様などが座席にたつことのないよう、特に注意し、シートベルトを必ずお締め下さい。
6. 走行中は、必ずリアドア（後部出入り口）のロックをして、ステップ部には絶対立たないで下さい。
7. 車室内には、お子様が操作すると危険な設備があります。お子様がこれらの操作をしないよう十分にご注意下さい。  
特にソファをベッドにする時は、手をはさむなどの危険性がありますので、必ず大人が一人でゆっくり操作して下さい。
8. 冷蔵庫は「走行中とキャンプ中」、「AC電源の有無」などによって、使用方法が異なります。  
本文の説明をよくお読みになってお使い下さい。又冷蔵庫周辺の改造は絶対しないで下さい。
9. 車のルーフ部（屋根）には、点検・清掃・ルーフボックスの出し入れ時のみに大人一人で上り降りして下さい。  
傾斜がついており滑りやすい上に、人の動きで大きく揺れますので転落の危険性があります。また、ルーフ部は強度的に十分荷重に耐える構造になっていませんので、特にルーフベンチレーター付近には乗らないで下さい。
10. 車からはなれる時は、ガス；火気等には充分注意して下さい。

# 1 電源について



## 機能

### ●オルタネーターによるバッテリーの充電

メインバッテリーに最初に充電されます。メインバッテリーの電圧が13.6V ( $\pm 0.1V$ ) に達すると自動的にサブバッテリーが並列に接続されます。そしてオルタネーターが働いている間、両方のバッテリーは同時に充電されます。

### ●外部充電器によるバッテリーの充電

充電器はサブバッテリーの端子に接続されます。オルタネーターによる充電と同様にバッテリーセパレーターは機能しますがサブバッテリーが最初に充電されます。

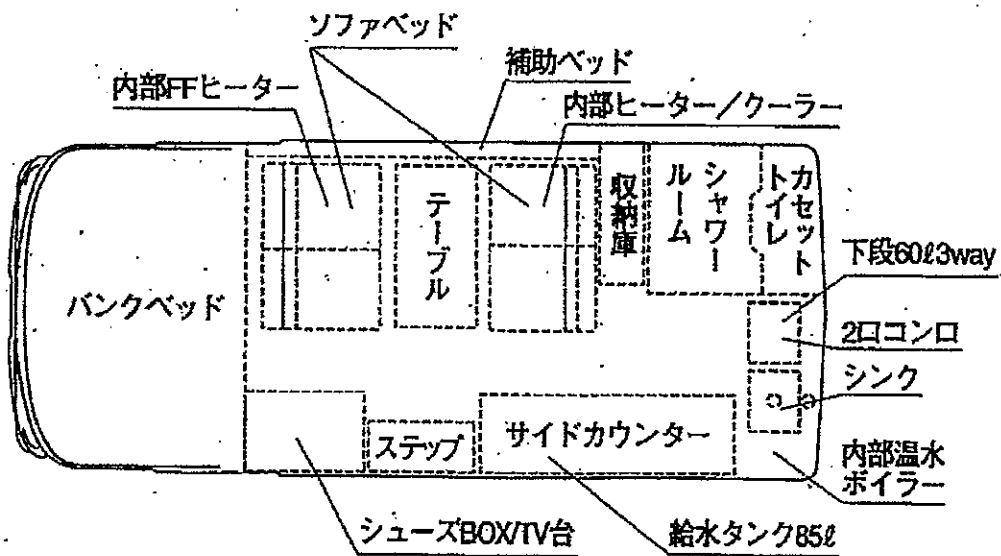
### ●12Vの供給 (オルタネーターまたは充電器による充電なし)

車両の電装部分 (ポンプ、ライト、ヒーターetc.) への電気供給は両方のバッテリーから並列に供給されます。両方のバッテリーが12.4V ( $\pm 0.1V$ ) に達すると自動的にメインバッテリーの接続を切り離し、サブバッテリーからのみ電気供給を行いません。

主要諸元

名称	CHAMP
車名	トヨタトラック ロングデッキ シングル ジャストロー 2WD (4WD)
型式	KC-LY111 (CKC-LY161)
シフト	トランスミッション/電子制御式2ウェイOD付4速AT (OD付5MT)
エンジン	3L型 (2779ccディーゼル)
全長	4850mm
室内長	4588mm
全幅	1880mm
室内幅	1800mm
全高	2720 (2800) mm
室内高	2000mm
乗車定員	6名
宿泊定員	5名

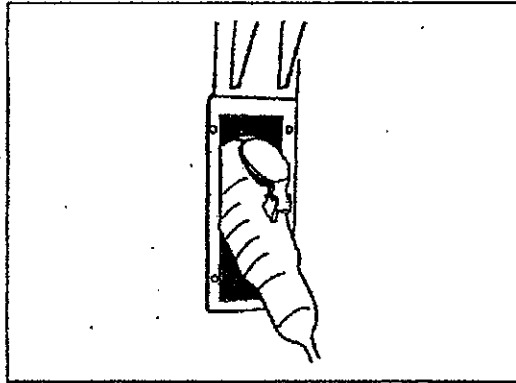
室内レイアウト





## 2 外部電源入力

---



付属のACコードを車両右側についている入力カプラーに差し込んで下さい  
室内の100Vコンセント、冷蔵庫、バッテリーチャージャー100Vが供給されます。  
キャンプ場等でAC100Vが取れる時はこれを活用して下さい。電力を一度に使いすぎるとブレーカーが下がりOFFになります。  
使用している電力を減らしてブレーカーを再度ONにして下さい。

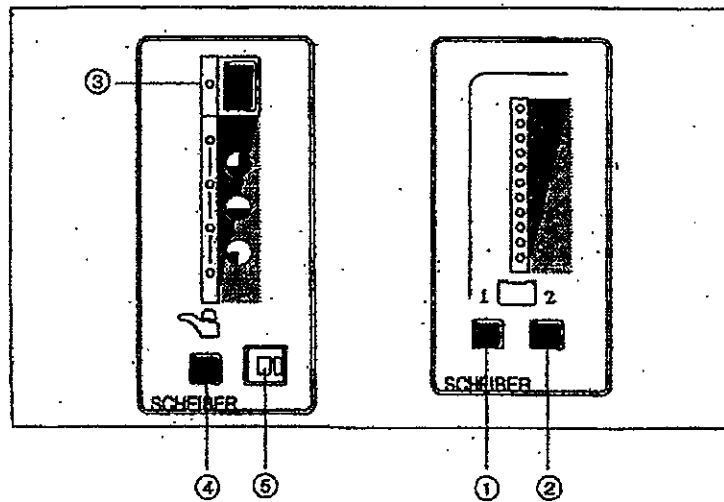
### 3 ACバッテリーチャージャー

ACバッテリーチャージャーはセカンドシート内部に設置されています。

これは車外から取り入れたAC100VをDC12Vに変換して車内に供給すると同時にバッテリーに自動的に充電する装置です。

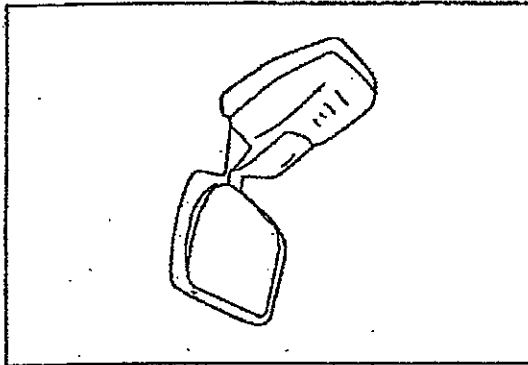
通常の使用では直接操作する必要はありません。

### 4 モニターパネル



- ① メインバッテリーインジケータースW
- ② サブバッテリーインジケータースW
- ③ ウォータポンプSW
- ④ ウォーターインジケータースW
- ⑤ 排水タンクランプ

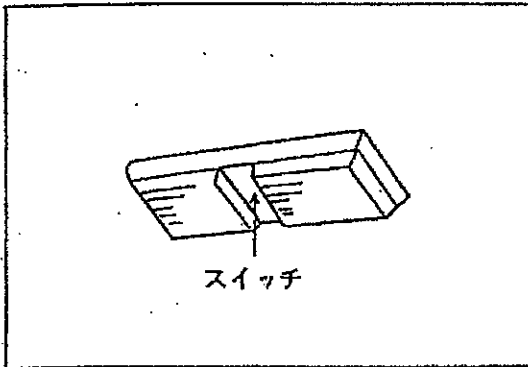
## 5 照明器具



運転台室内灯

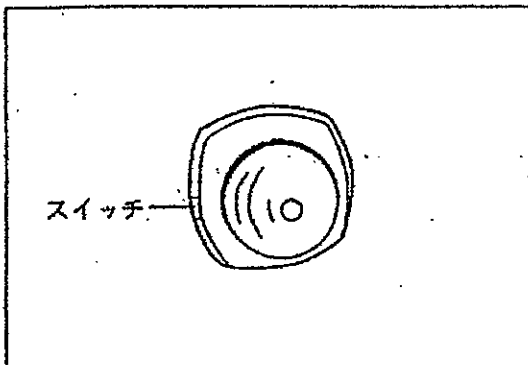
- ・ON ... ドアへの開閉に関係なく点灯
- ・OFF ... ドアへの開閉に関係なく消灯
- ・DOOR ... フロントドアを開けたとき点灯  
閉じると消灯します。

(室内灯はメインバッテリーを使用しています。)



ルームランプ

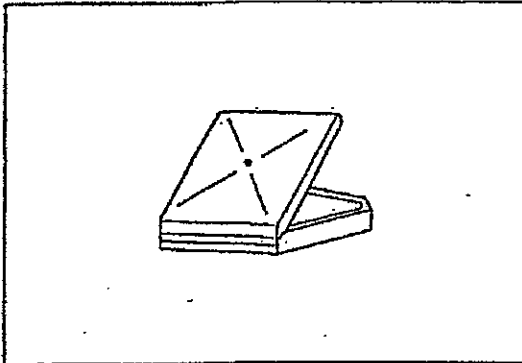
器具側面におけるスイッチをONにすると点灯します。



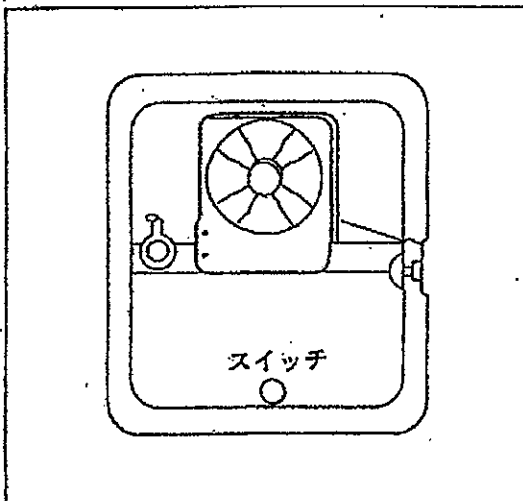
シャワールームランプ

シャワールームランプのスイッチを上下にスライドさせることでON/OFFできます。

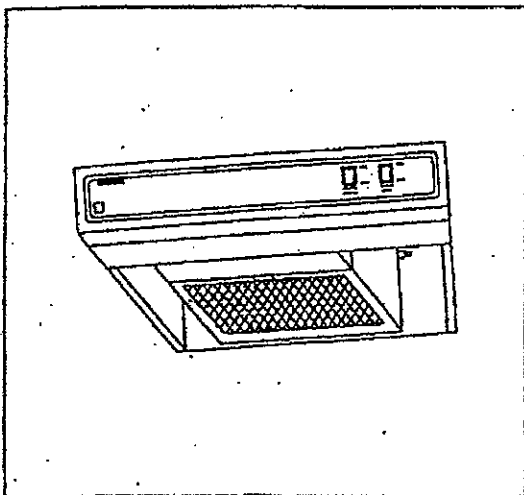
## 6 ルーフベンチレーター



レバーをぐるぐる回すとフードが開きます。  
走行中は風の抵抗が大きくなりますから、開けないで下さい。  
ルーフベント本体のスイッチを押して下さい。

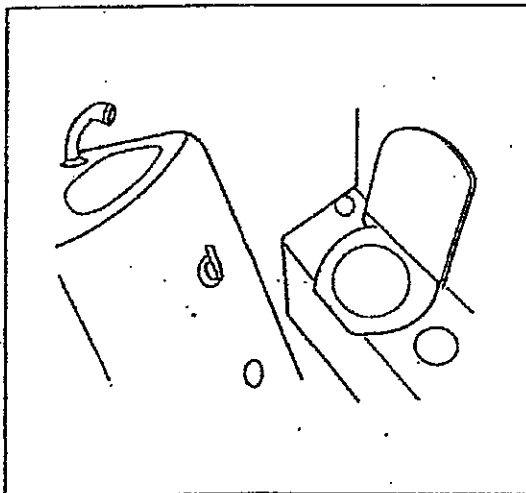


## 7 レンジフード

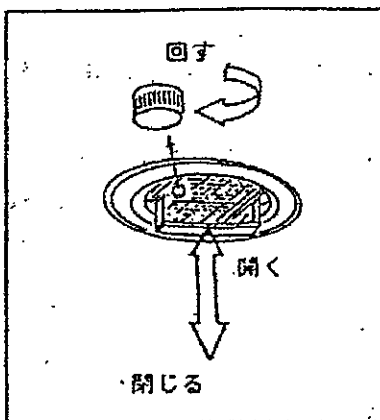


- ・照明とファンの2つのスイッチがあります。
- ・外部のルーバーのツメを開けて下さい。
- ・本体右側面に出ているストッパーを引いて下さい。
- ・スイッチをONにするとファンが回り換気されます。

## 8 シャワールームベンチレーター

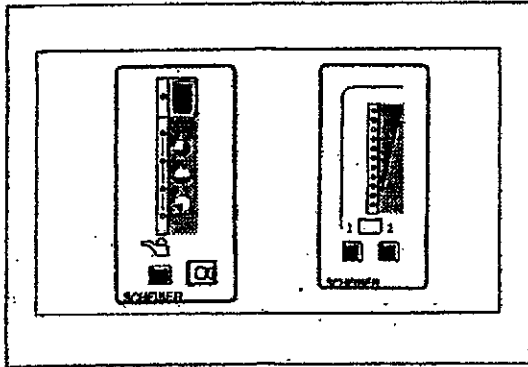


シャワールーム内天井にベンチレーターがあります。



- 1 シャワールーム内のベンチレーター本体にあるレバーを上へ上げ、外部のカバーを開きます。
- 2 本体にあるスイッチを右にカチッと音がするまで回すとファンが回転します。同じ方向にもう一度回すとファンは止まります。  
(スイッチを入れる前に必ずレバーを押し上げて下さい。レバーを下げたままでファンを廻すと破損します。)

## 9 バッテリーテスター



図のモニタースイッチを押すとサブバッテリーの良否が判断できます。

バッテリーインジケータ（"Battery"）の点灯状況を電装機器を「OFF」の状態を確認して下さい。

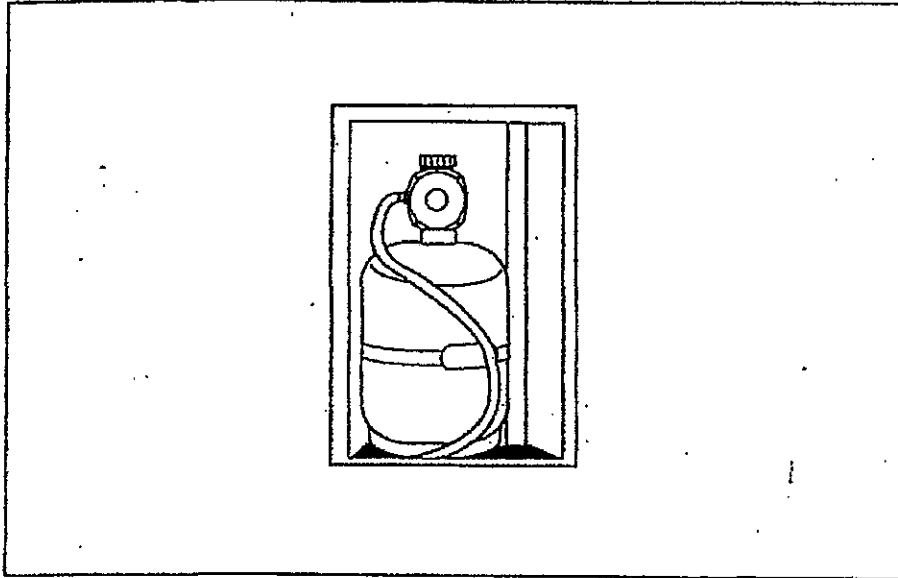
緑ランプ	良好
赤ランプ	要充電

①メインバッテリー

②サブバッテリー

## 10 LPガスボンベ

充填された5kgのLPボンベが左側の収納ボックスの中に固定されています。  
このボックスは車室内と完全に隔離されています。  
さらに万一ボンベ周辺でガスが漏れても車外にガスが逃げるようにルーバーが設けてあります。



LPボンベ取付位置（左側面）

### ボンベの交換

1. キーでドアロックを解除してドアをあけて下さい。
2. LPボンベの元栓を右回りに回し確実にガスもれのないようにしめて下さい。
3. レギュレーターを右回りに回し、LPボンベより外して下さい。
4. パチン錠を外し、ボディにキズなどつけないように取り出して下さい。
5. 新しく充填されたボンベを取り出したときの逆の方法にセットして下さい。

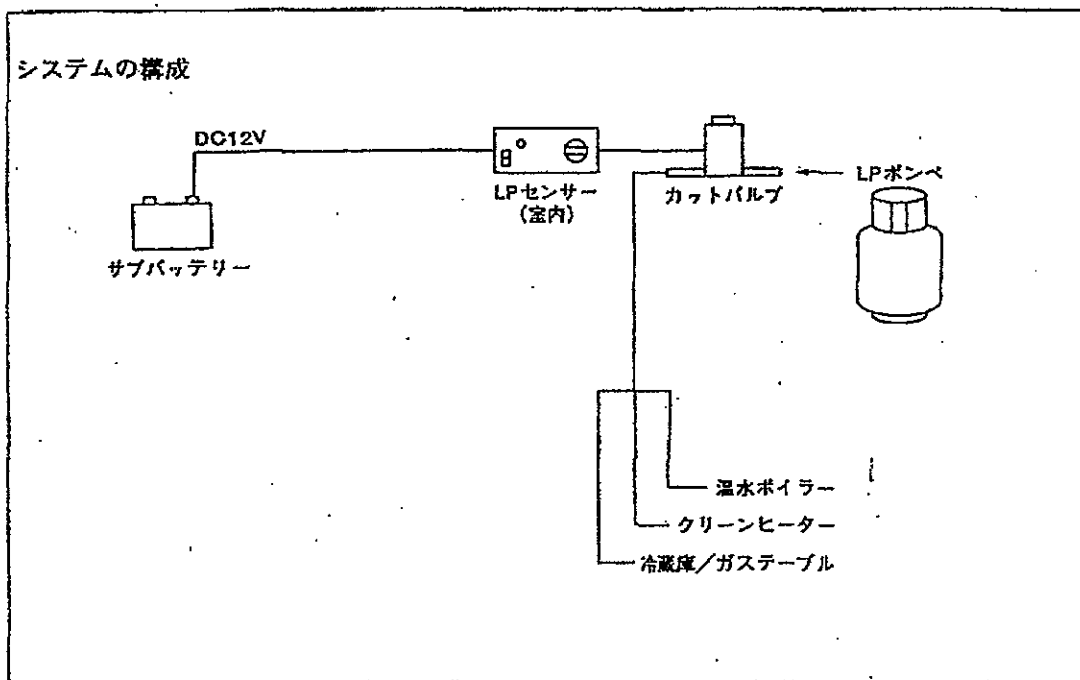
### 注 意

- ・ LPボンベは標準以外のものを使用しないで下さい。
- ・ LPボンベはバンドで確実にロックしてガタ付きのないことを確認して下さい。



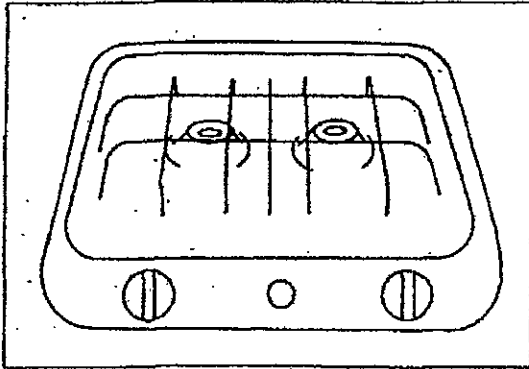
# 11 LPアラーム

これはガス漏れ警報機と遮断弁が組合わされたシステムです。



1. LPポンペの元栓を1回転くらいまわす。
2. LPセンサーのスイッチをONする。  
ピッピッピッと音がなり、30秒くらいで音が止まりランプのみ点滅します。カットバルブが開きます。
3. 万一ガス漏れが発生した時は、ピッピッピッと警報音が発せられ同時にカットバルブが閉じます。その時は速やかに火気の使用をやめ元栓をしめて換気をして下さい。
4. サブバッテリーの電圧が下がるとカットバルブは閉じます。  
器具の使用を止め、LPポンペの元栓を締めてから、サブバッテリーの充電を行なって下さい。  
正常になりましたら再度LPアラームをセットして器具を使用して下さい。

## 12 ガスコンロ



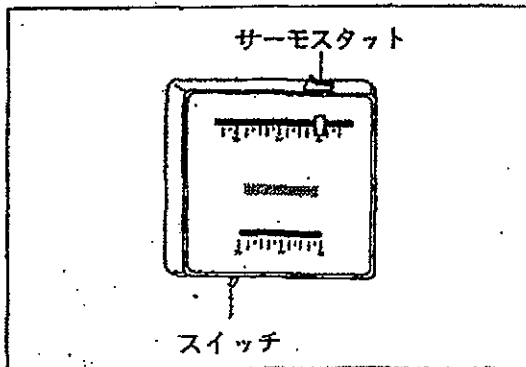
このガスコンロは使用中に万一立ち消えしても自動的にガスの供給を止める装置が付いています。

1. LPガスをセットして下さい。
2. 火力ダイヤルをMAXに合わせて押しながら点火ボタンをおして点火して下さい。
3. 着火後、火力調整して下さい。

### 注意

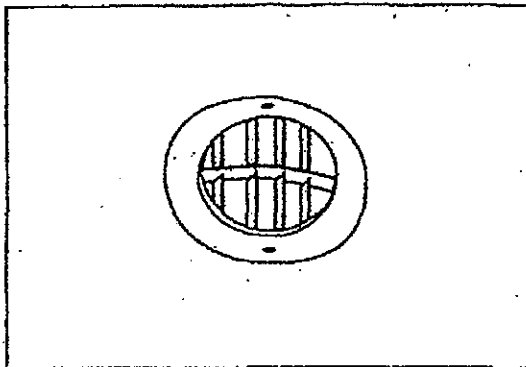
火を使う時は必ず換気をして下さい。回りに燃えやすいものがないのを確認してから使用して下さい。

## 13 クリーンヒーター



### クリーンヒーターの使い方

1. LPガスをセットして下さい。
2. 壁にあるコントロールスイッチをONにしてサーモスタットの温度を設定して下さい。  
(ヒーターのファンが作動します)  
スイッチを入れて約20秒で送風になり、その後自動点火し約1分で温風になります。
3. 吹出口は座席の下に1か所あります。

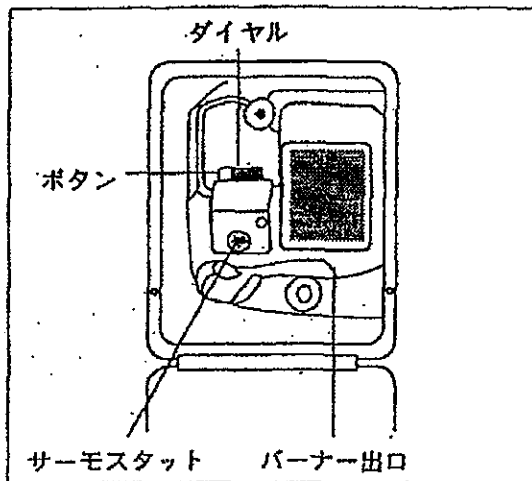


- ・このクリーンヒーターは、設定温度に達すると自動的に消化し20～30秒後にファンも止まります。
- ・室内温度が設定温度より下がると再びファンが回りだし自動的にバーナーも燃焼します。これを自動的に繰り返し室内の温度をほぼ一定に保ちます。
- ・早く好みの温度に設定する場合は、サーモスタットスイッチの温度調整レバーを一番右(高)にして点火し適温になったところで少しずつレバーを左(低)の方に動かし、バーナーの燃焼が止まった位置にすると便利です。

### 注意

右サイド吸排気口が有り、高温の熱が出ますので、使用中ににふさいだり、燃えやすい物を近づけたりは、絶対にしないようにして下さい。  
長時間閉めきって使用する時は時々、換気をするようにして下さい。

## 14 ウォーターヒーター（湯沸器）



1. LPガスをセットして下さい。
2. ウォーターポンプのSWを入れて下さい。
3. シャワー栓、キッチン蛇口から、水がクー  
ル、ホット共に出る事を確認して下さい。  
空気が入っていると、水の出が不規則にな  
りますので、蛇口をあけたままポンプを回  
して下さい。
4. 表にあるウォーターヒーターのパネルを開  
け、サーモスタットのレバーをセットして  
下さい。  
ダイヤルをOFFより、パイロットに合わ  
せ、横のボタンを押しながら、チャッカマ  
ン等でバーナーの出口へ火を付けて下さい。
5. タネ火が付きましたら、ダイヤルをONに  
して下さい。  
バーナーの火が大きくなり、温水を作りま  
す。
6. サーモで設定した温度になると自動的に  
タネ火に戻ります。温度が下がると再びバ  
ーナーの火が大きくなり、湯を沸かします。

### 注 意

空だきは絶対にしないで下さい。

パネルのあみ目から熱風が出ますので、燃えやすい物を近づけたり、ふさいだりしないで下  
さい。

使用しない時、冬季のときなど凍結が予想される場合も水を抜いて下さい。タンク内の水を  
ドレンコックで排水して下さい。

## 15 3 Way 冷蔵庫

### LPGガス使用の場合

- 1 冷蔵庫の電源が総てOFFである事を確認する。
- 2 ガスホンの元栓及び冷蔵庫のガスロックを開く。
- 3 図の(8)のガスコントロールの目盛りを“8”に合わせる。
- 4 (10)の電子イグナイターを点火位置に入ると、スパーク音がしてランプが点滅する。
- 5 (9)のガスON-OFFダイヤルを点火マークに合わせる。
- 6 電子イグナイターのフラッシングが止まり、連続してランプが点灯したら着火され正常に運転されている状態を示します。
- 7 もし途中で消えても、電子イグナイターが自動的に働き再び点火され、正常運転に復帰する。

### 注 意

日本では、走行中のガスの使用は禁じられています。

### AC100V使用の場合

- 1 ガス栓及び(9)のスイッチがOFFになっている事を確認する。
- 2 AC電源のロッカースイッチ(6)をON即ち“1”に入れて、DC12Vのロッカースイッチ(5)を“0”側にする。
- 3 サーモスタットのダイヤル(7)を、適当な求める温度に設定する。  
“8”が最低の温度設定になる。

### DC12V使用の場合

- 1 AC100Vの場合と同様に、総てのガス栓がOFFになっているかを確認する。
- 2 DC12V電源のロッカースイッチ(5)をON即ち“1”に入れて、AC100Vのロッカースイッチ(6)を“0”側にする。
- 3 サーモスタットのダイヤル(7)を、適当な温度に設定する。  
“8”が最低の温度設定になっている。
- 4 DC12V電源の場合、主に走行中に使用されるものと想定し、消費電力を抑え、出力は落として設計されている。従って停車中に使用する場合は、AC電源か、ガスに切り換えて使用して下さい。

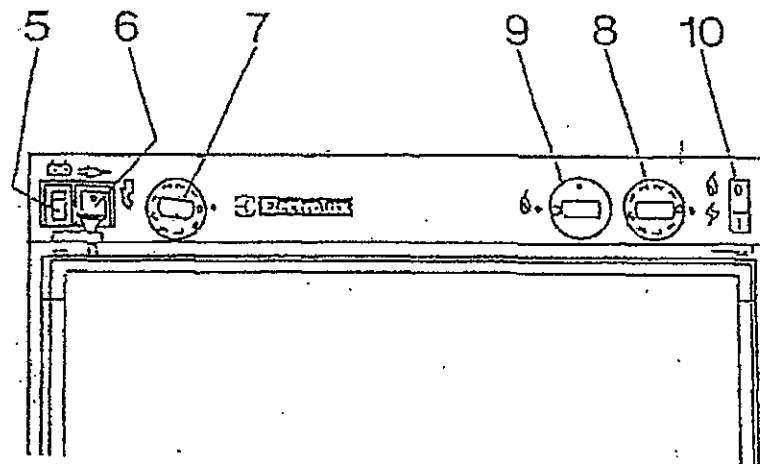
## 冬期の操作方法

暖房の無い車内で、外気の温度が $-12^{\circ}\text{C}$ 以下になる様な時、しかも長い間冷蔵庫のスイッチが切られていて使用していなかった場合、冷却ユニットが非常に冷えてしまい、AC/DC電源ではスタート出来ません。この場合はLPGガスで、スタートさせなければなりません。

外気温度が $0^{\circ}\text{C}$ 以下になる様な冬期中は、ベンチレーターにカバー等をして、冷たい外気が直接冷却ユニットに当たらない様、何らかの工夫が必要です。

尚、排気管の出口は絶対にカバーをしないで下さい。又ガスの燃焼に必要な空気は、最小限入るように配慮して下さい。

冬期、又は雨ふりの走行時は、ウインターカバーをして下さい。それ以外の時は、外して下さい。



- 5. 12V on/off switch
- 6. 220V/240V on/off switch
- 7. Electric thermostat (220/240V)

- 8. Gas thermostat
- 9. On/off flame failure valve
- 10. Electronic igniter switch

### 注意

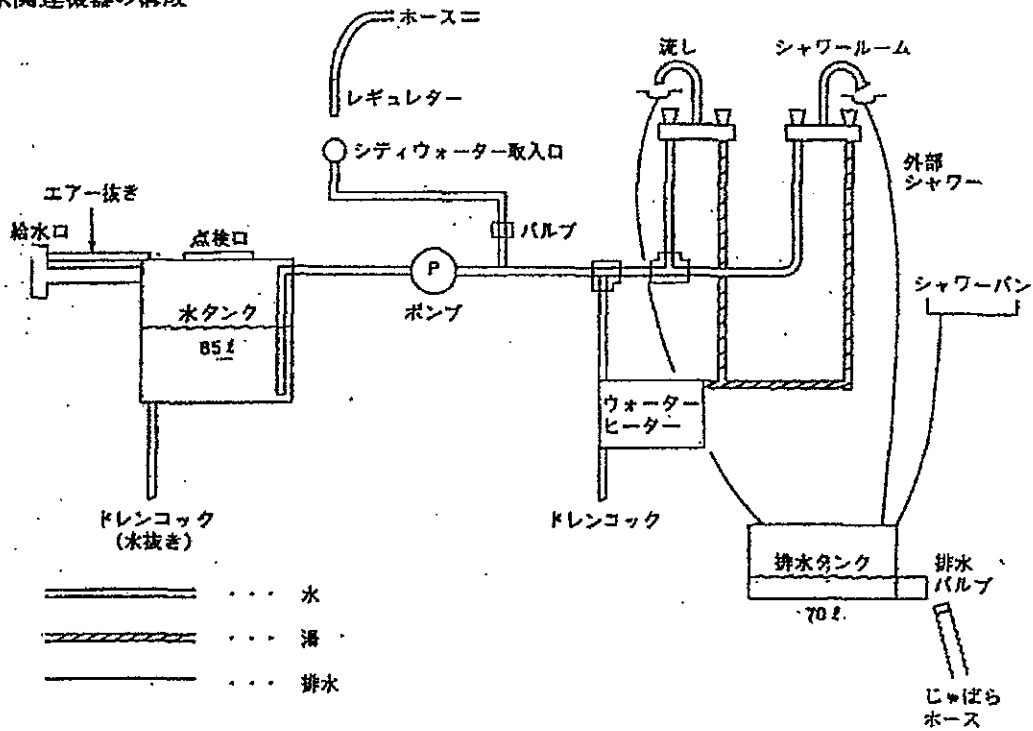
■この冷蔵庫は家庭用と違い、短時間で食品を冷やす能力が低いので、冷蔵の必要な物はあらかじめ冷やしてからお入れください。また製氷についても、室内温度の状態により製氷できない場合があります。

■冷蔵庫を効果的にご使用していただくため、下記事項にご注意ください。

- 庫内に食料品をつめ込みすぎない。
- 水気の多いもの、香りの強いものは包んでから貯蔵する。

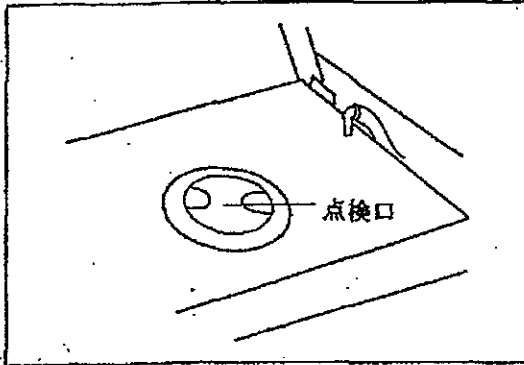
# 16 水関連機器

水関連機器の構成

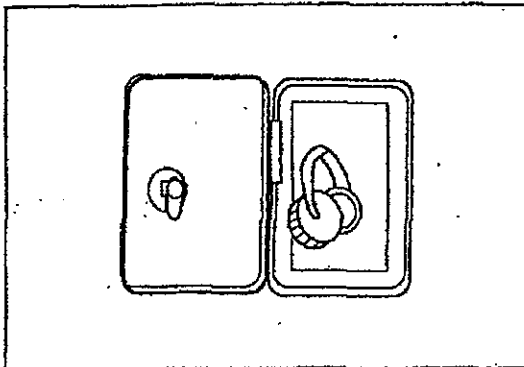


- ・長期間使用しない時、寒冷地へ出かけた時はタンク内、水道管内などの水をぬいて下さい。
- ・シティウォーターを使用する時は、バルブをあけてレギュレーターとホースをセットして、給水口に付いている金具にネジ込んで下さい。この時は、ポンプを回さなくても水道の圧力で家庭と同じ様に水を使えます。(水タンクは空でも良いです)

## 17 給水タンク



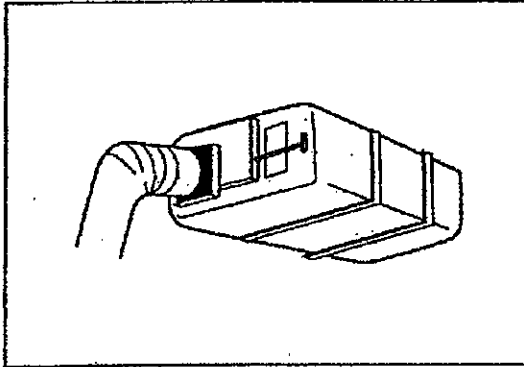
1. 給水タンクは左サイドカウンター内に配置されています。容量は約85ℓです。
2. ボディ左側にある給水口のふたをキーでロックを解除してあけて下さい。
3. 給水口のフタをあけて、ホースを中へ10cm程差し込み給水して下さい。
4. モニターパネルで水の量を確認しながら、満水にして下さい。
5. 長期間使用しない時は、寒冷地等、水の凍結のおそれがある時などは、ドレンコックで水を抜いて下さい。
6. タンク内部を洗浄する時は、水タンク上部についている点検口のフタをあけて内部を洗って下さい。
7. 飲料水は別にタンクを用意して下さい。



ドレンコックは、リア左側タイヤハウス前方にあります。



## 18 排水タンク

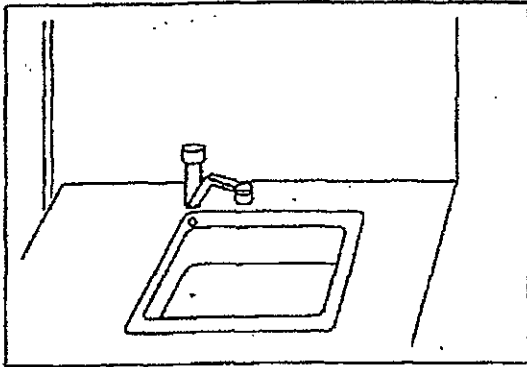


1. 排水タンクは車両後方の床下にセットしてあります。  
容量は約70ℓです。

このタンクは、シャワーや流しから流れた使用済の水をためておくためのタンクです。

2. 排水口に付属のドレンパイプを接続して適切な場所へ、のばして下さい。
3. コックを引くと排水されます。
4. 排水タンクは満タンになると、室内のモニターパネルのランプが点灯します。

## 19 キッチン蛇口

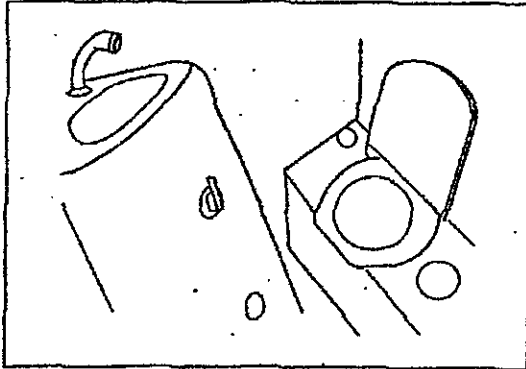


- ・モニターパネルのウォーターポンプスイッチをONにします。
- ・蛇口のレバーをあけると水がでます。  
(水を出すとウォーターポンプが作動します)
- ・レバーで温度調節ができます。

### — 注意 —

始めにHOTの方で水をだすと熱湯が出てやけどをする危険がありますので必ず、Cool側の方にレバーがある事確かめてから水を出して下さい。

## 20 シャワールーム

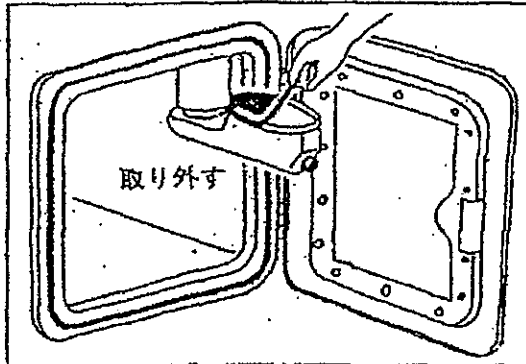


### シャワールームの使い方

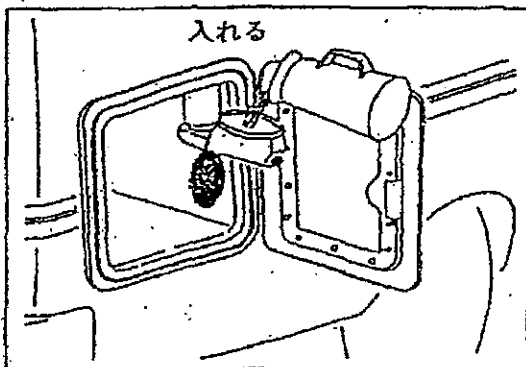
1. 上部のルーフベンチレーターをあけてスイッチを入れ換気して下さい。
2. 照明のスイッチをONにして点灯させて下さい。
3. ドア側面は、シャワーカーテンを引いて下さい。
4. レバーを徐々に回し、湯温を調節して下さい。

## 21 トイレ

### トイレの給水のしかた



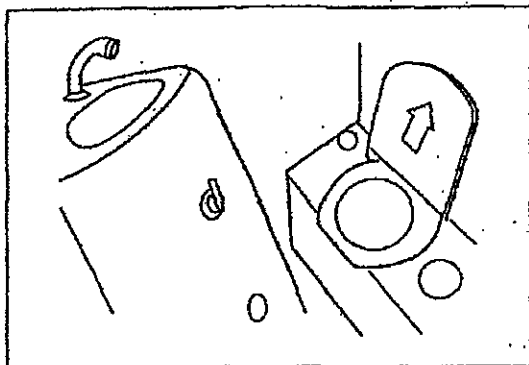
- ・水洗タンク給水口上部の黒色ゴムキャップを矢印の方向へ引いて外します。



- ・水を給水口より注入し（約15ℓ程度で満水になります）、満水を確認した後、ゴムキャップを取り付けて取り出した手順の逆の手順を行ってください。
- ・タンク下面についているヌトッパ一板を押しながら、汚物タンクをそっと引き出します。
- ・消臭消毒剤（ブラックウォーターまたはアクアケム）を使用し、排出口から水1ℓ程度注いだあと消臭消毒剤100mℓ（ボトル半分）を注ぎます。

（消臭消毒剤は、強力な消毒剤です。注入時は、手袋をはめて取り扱いには十分注意してください。）

## トイレの使い方

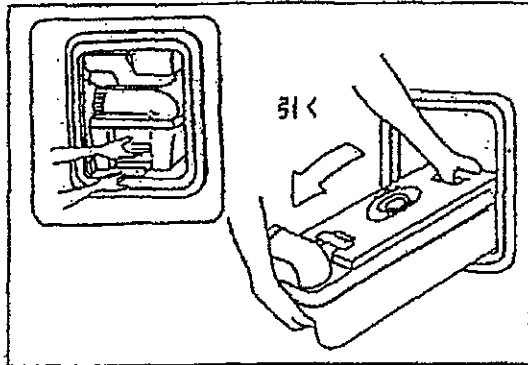


- ・トイレのフタを矢印の方向へ引き上げて後部の壁に当たるまでたおし、たおれないようにします。
- ・トイレの便器内にあるバルブ板が開いていないことを確認します。
- ・トイレに向かって左側のノブを2～3回程度押し、便器内に水をためて使用します。  
(便器内に汚れがつきにくくなりますので水を少しためてください。)
- ・使用後は、トイレに向かって左側のノブを矢印の方向へ回し、汚物を流します。  
(汚れが残っているときは、左側のノブを押し水を流しながら清掃してください。)

### 注 意

- ・汚物タンクのつまりを防ぐため、トイレットペーパーを使用してください。
- ・使用しない時は、便器のバルブ板を確実に閉めて（左側のノブの確認）汚物やにおいが走行中に逆流しないようにしてください。
- ・水洗タンク内より水がなくならないように注意してください。  
汚物タンクメーター 緑色……空の状態です。  
" 赤色……満水です。

## 汚物タンクの排水のしかた



- ・タンクの下面についているストッパー板を押しながら汚物タンクをそっと引き出します。
- ・取り出したら汚物タンクを持ち、まるいエア一抜きバルブを押しながら家庭用トイレなどの適切な場所に排出してください。  
(排出するときは、屋外などの他人に迷惑にならないような場所をお願いします。)
- ・排出作業が終了後、取り出した逆の手順で行います。

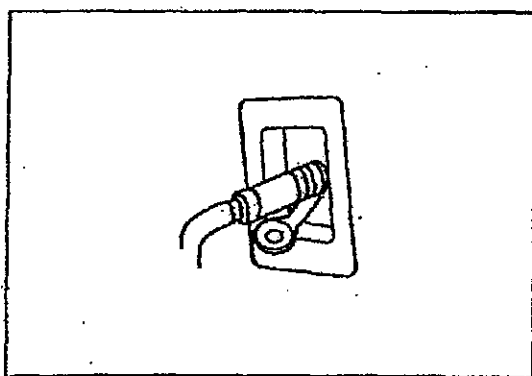
## 注意

- ・車両走行中に、汚物タンクが車外へとびださないように扉のカギを確実にロックしてください。
  - ・消臭消毒剤は、人体に有害な薬品なので注意事項を必読し取り扱いを行ってください。
  - ・汚物タンク注入時は手袋をはめ、周囲にごぼさないでください。
  - ・食品や食器と一緒に保管しないでください。
  - ・子供の手の届かない所に保管してください。
- ※万一、皮膚や目に薬品が付着した場合、すぐに十分な水洗いをしてください。特に目に薬品が入った時は、水洗いをしたあと、すぐに医師の診断を受けてください。

## 洗浄 & 保管 とその他

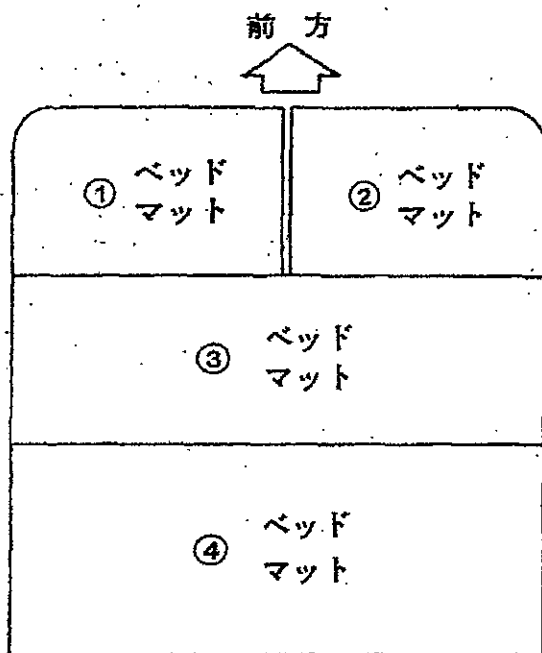
- ・通常の洗浄は、汚物を処理した後に台所の中性洗剤と水を入れ、キャップを閉めてゆするようにして洗い流してください。
- ・保管する時の洗浄は、汚物を処理した後きれいに水洗いをし、よく乾燥させて保管してください。
- ・クレンザーや金ブラシ等は、材質を傷めますので使用しないでください。
- ・寒冷地でご使用の場合は、少量の不凍液を水洗タンクに入れると水の凍結を防止できます。

## 22 シティウォーター接続



1. 付属のレギュレーターを接続してからホースを接続して下さい。
2. レギュレーターは水圧を一定にする為のもので、内部の配管等を保護します。

## 23 バンクベッドの作り方



### バンクベッドの作り方

1. バンクベッドマットを持ち上げ手前に引きウォークスルーサイド部の欄にのせてセットします。
2. 使用しないときは、セットした時の手順と逆の手順で行ってください。

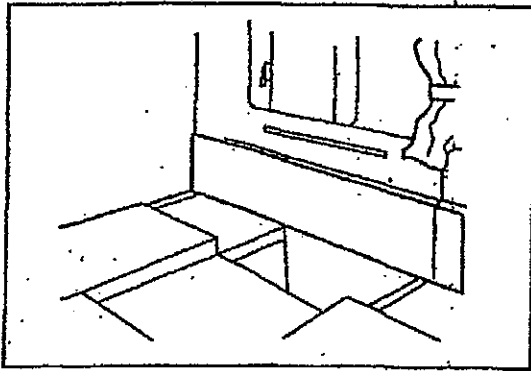
### 引き出した時に

- ③と④の位置をまちがえないようにして下さい。  
(③より④の方が幅が広いです。)

### 注 意

- ・走行中は、危険ですからバンクベッドに乗ったり、荷物をのせないで下さい。
- ・バンクベッドの上に荷物をのせる時は、走行中落ちないように気をつけてください。

## 24 メインベッドの作り方



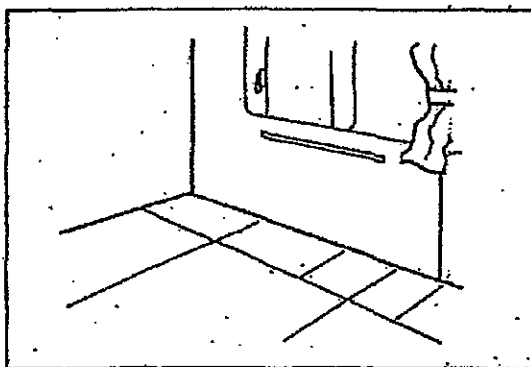
1. テーブルを車両から取り外し、床において下さい。
2. レバーを解除して前後のスライドを、後方へいっぱいにはスライドして下さい。

3. 丸型のツマミ（黒色）を引き各背もたれをたおし水平にして下さい。

4. ソファー部分を左側にスライドしてカベ側にある補助ベッドをたおして下さい。

### 注意

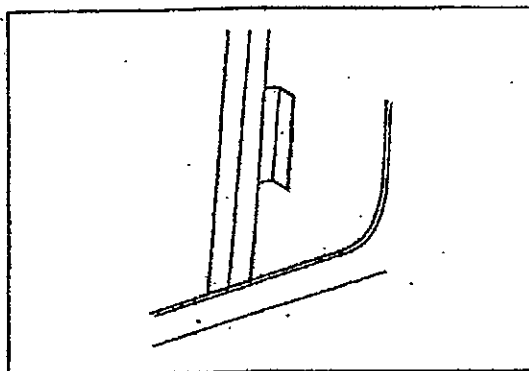
レバー、ツマミを操作する時は手をはさむなどの危険性がありますのでお子様には十分気をつけ必ず大人一人でゆっくり操作して下さい。



5. 元へ戻すときは作り方の逆の手順で行って下さい。



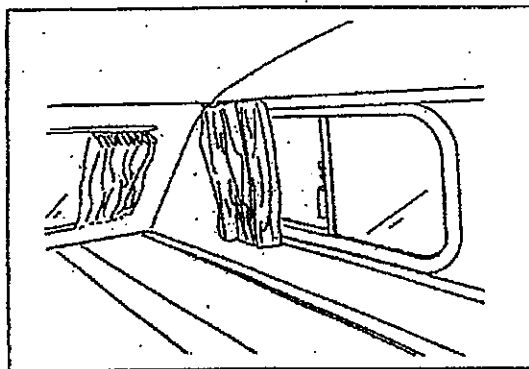
## 25 各ウインドの開閉



### サイドウインド（左右）

- ・ロックレバーを矢印の方向へ回転しロックを解除してください。

- ・スライドガラス端部のつまみを矢印の方向（車両前方）にスライドさせ、適度な所で止めてください。
- ・ガラスを閉めるときは、開けたときの手順と逆の手順で行ってしてください。  
（すべてのスクリーン（網戸）の開閉はサッシ上下部をつまみ、両手で行ってください）



### バンクベッドサイドウインド

- ・操作方法については、サイドガラスと同様の操作を行ってください。  
（スクリーンも同様）

### リアウインド

- ・リアーガラス開閉のしかた。
- ・操作方法については、サイドガラスと同様の操作を行ってください。  
（スクリーンも同様）

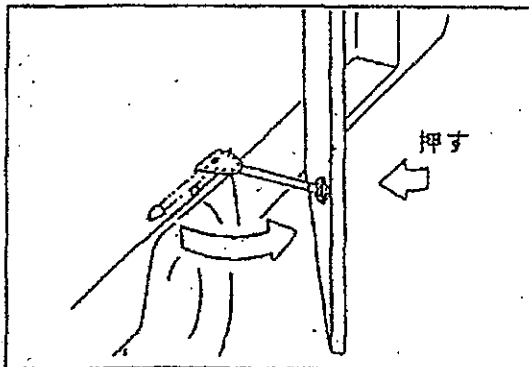
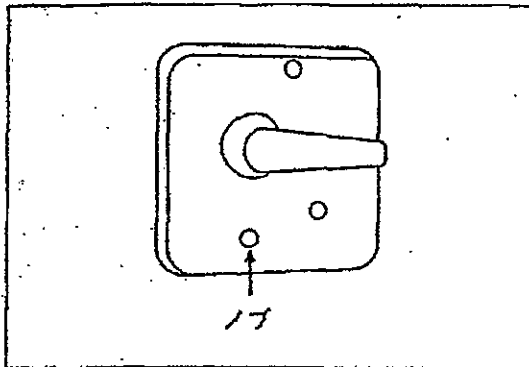
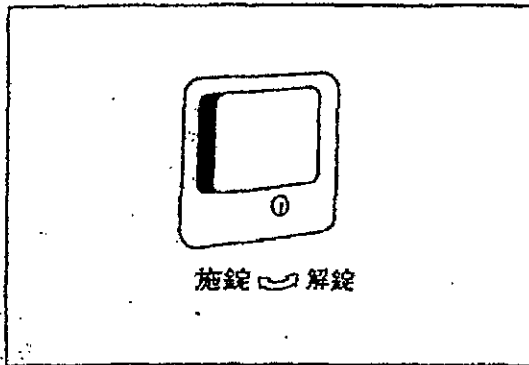
## 注 意

- ・走行中は危険ですから、頭や手を出さないでください。
- ・洗車時には、完全に閉じてロックされていることを確認し下部の排水口に直接ホースの水があたらないようにして下さい。
- ・網戸部は、ビニール製ですので火気に注意して下さい。

—特に御注意下さい—

キャンピングカーの窓下には室内側に付いた水滴を車外に出すため排水口がついています。このため横なぐりの強い雨などが当たると多少の水が内側サッシの下にたまります。さらに強い雨ですと、これが車内に入りますのでこのような時は車の向きを変えたり雨が当たらぬよう工夫して下さい。

## 26 リヤードア

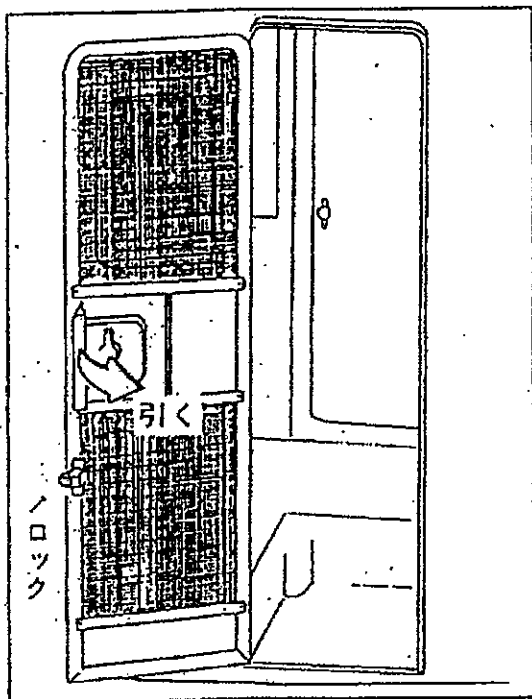


### リヤードアの開閉

- 1 解錠のしかた
  - ・車両外側から2番のキーで矢印右方向（右）へ90°回すと解錠できます。
  - （キーを抜くときは元の位置に戻して下さい。ドアは解錠されたままです。）
- 2 施錠のしかた
  - ・車両外側から2番のキーで矢印左方向（左）へ90°回すと施錠できます。
  - （キーを抜くときは元の位置に戻して下さい。ドアは施錠されたままです。）
- 3 室内からの解錠、施錠のしかた
  - 室内側ハンドルの左下にあるノブを引くと解錠できます。
  - 押すと施錠できます。
- 4 室内からドアを開けるときは解錠後ハンドルを矢印の方向（上下どちらでも）に回して下さい。
- 5 ドアを開放状態にする時は図のリヤードアオープンロックを矢印の方向に引きセットします。
- 6 ドアをいっばいに開け図のようにロック棒の先端がキャッチの中央に入る事を確認し押し込んで下さい。その際ドアの下部（キャッチ付近）のサッシ部を押して下さい。

### 注 意

- ・施錠する時に、リアードアが完全に閉じていない時などノブが動かないことがあります。ドアは完全に閉じてから行ってください。
- ・走行中、リアードアの施錠を必ず行ってください。
- ・走行中は室内を立って歩かないでください。特にお子様には注意して下さい。

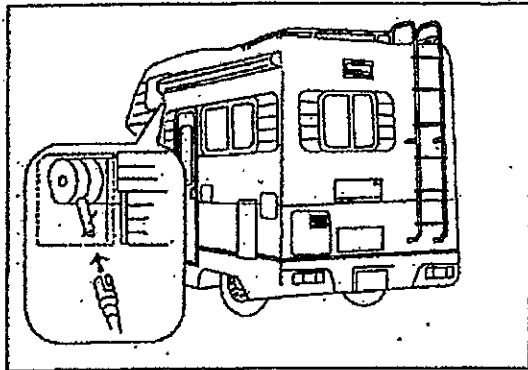


### 網戸の開閉

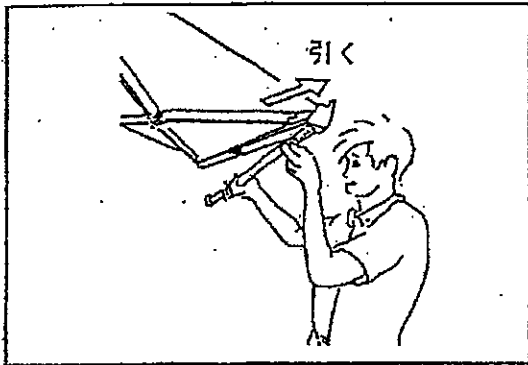
スクリーン（網戸）にはマグネットが付いているためドアといっしょに開きます。

- 1 図のプラスチック部を矢印の方向に引きドアから離して下さい。
- 2 スクリーンをかろく閉めたら図のロック反対側サッシ部を押して下さい。

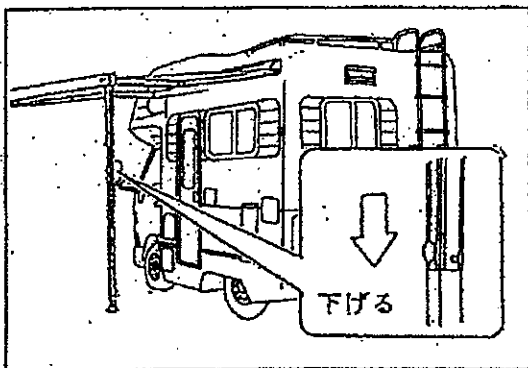
## 27 サイドオーニング



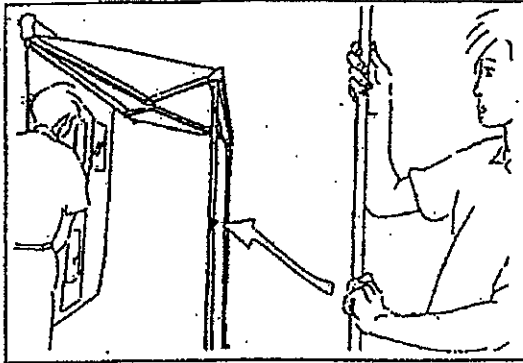
- ・サイドオーニング端部のフックにクランクバーをハメ込み左回りに回し、テントを1m程張り出してください。



- ・テントを1m程張り出した所でカバー下面の両端にあるツマミを左回りに回しロックを解除（ゆるめる）し、ノブを矢印の方向へ引いてください。



- ・ツマミを引くことによりオーニング中央部の脚が外れます。脚が外れたことを確認し矢印の方向へそっとおろしてください。

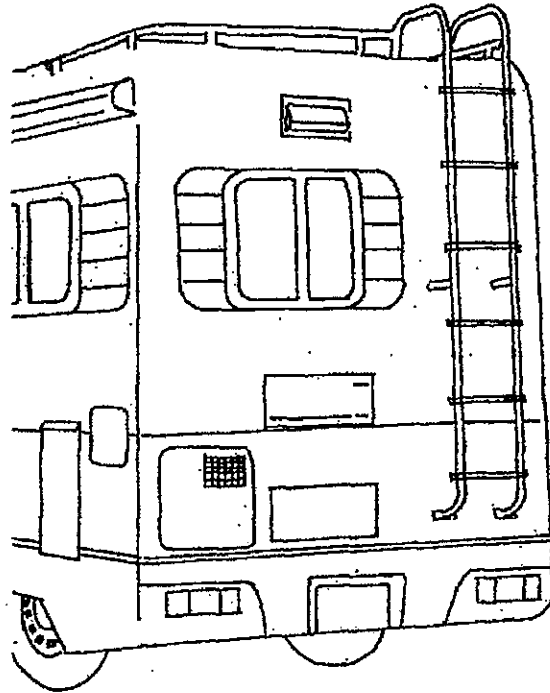


- ・サイドオーニング接地面の高さまで伸ばし、ツマミを右回りに回し固定して下さい。
- ・下端部へベグ（固定用クギ）などを打ち込み動かないように固定してください。
- ・サイドオーニングの収納は、セット時に行った手順の逆を行い収納してください。

### 注 意

- ・風にアオられて破損することがあります。ベグを打込んで固定して下さい。
- ・風の強い時や、降雪時は使用を避けてください。
- ・雨天時に使用している時は、テント上面に雨水が溜まり水の重さでこわれます。こまめにテントの下側を押して流すか前後の脚の長さを変えて傾斜をつけて雨がたまらないようにしてください。
- ・走行前に、オーニングが確実に収納されていることを確認してください。

## 28 リヤラダー

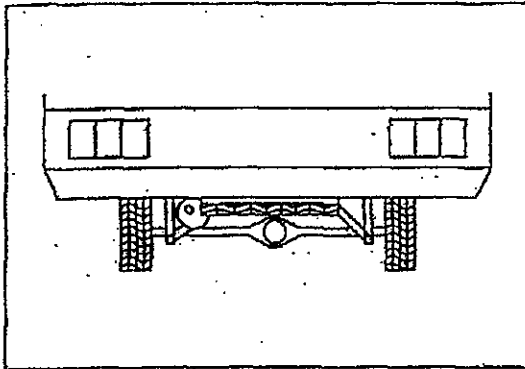


### 使用上の注意

- 1 スリッパに注意して昇り降りして下さい。
- 2 バンゴに乗るのは大人1名までとし、何人もの人が同時に乗らないで下さい。
- 3 屋根に上がるのも大人1人だけにして下さい。  
大人一人が静かに登り降りして下さい。

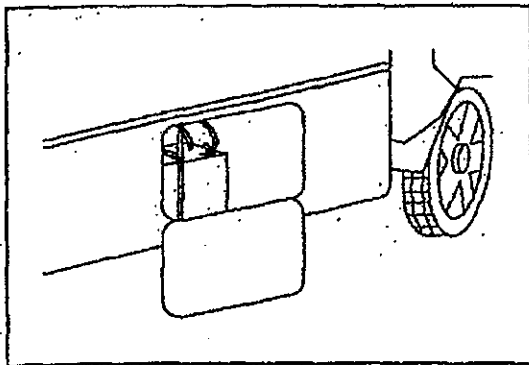
〔なお屋根の上に荷物を乗せる時には専用のルーフボックスをお使い下さい。〕

## 29 スペアタイヤ



(タイヤ交換はトヨタ自動車の取扱い説明書に従って下さい)

## 30 サブバッテリーのメンテナンス



ボディサイドの点検口をあけると中にサブバッテリーがあります。(4WDの場合は車両左側後方)

サブバッテリーの脱着は、販売店にご相談ください。

### サブバッテリー

ガラスウールに電解液を浸ませた特殊構造のバッテリーを使用しています。(115A)

●サブバッテリーは、5アンペアの電気使用時、バッテリー満充電状態で約20時間(10Aのときは約9時間)使用できます。ただしバッテリーの使用年数により短くなります。

#### 注意

- 液の補充は絶対にしないでください。
- サブバッテリーの脱着は、販売店にご相談ください。
- サブバッテリーの使用後は、8時間以内に充電してください。



## 31 リアヒーター&クーラー (エンジンを利用して走行中に使用できます)

### リヤヒート&クーラーの使い方

#### クーラーとして使う時

1. フロントエアコンを作動させる。
  2. 冷蔵庫上部の2個のスイッチのうち下の切換スイッチを下側 (クール) に倒す。
  3. 上の風量調整ノブを右に回し好みの風量に合わせる。
- リヤのクーラーはフロントエアコンが作動していないと使えません。  
風量調整はできますが温度調整はできません。

#### ヒーターとして使う時

1. クール/ヒート切換スイッチを上側 (HEAT) に倒す。
  2. 風量調整ノブを右に回して好みの風量に合わせる。
- リヤのヒーターはフロントヒーターを作動させなくても使えます。

#### 使用上の注意事項

停車中アイドリングで長時間エアコンを使用するとエンジンばかりでなくエアコンシステムがオーバーヒートし冷媒が放出する事がありますので絶対にしないで下さい。

#### 追記

#### 収納キャビネット

上部キャビネットには、重たいものは入れないようにして下さい。  
トビラをあけた時中の荷物が外にとび出す時がありますので特に、頭、顔などにあたりけがをするおそれのあるもの (ビン類、ラジカセ等固くて重いもの) は入れないで下さい。

## 32 出かける前の準備

食糧品、着替え、寝具、アウトドア用品などキャンプに必要なものを積み込みますが、このほか、下記の事項について準備して下さい。

1. 給水タンクへ水を注水する。

飲用の水は別途ポリタンクを車内に持ち込む。

注) 冬期など凍結が予想される時はタンク・配管内に水を入れないでください。

2. 排水タンク内の排水が空になっていることを確認する。

3. 冷蔵庫を予冷する。

冷蔵庫は冷えるまで時間がかかるので出発前に予冷する必要があります。AC100V電源を用い6時間以上冷やして下さい。(夏期は10時間以上) この時車両を水平にしないと冷えません。

(外部電源コードAC100Vコンセントに差し込み、冷蔵庫のFUEL SELECTIONスイッチを'ELEC'に合わせる)

なお肉類などの生鮮食品は自宅の冷蔵庫で十分冷やした上で入れてください。

4. サブバッテリーを満充電にする。

外部電源コードをAC100Vコンセントに差し込んで充電する。

バッテリーメーターを確認し、もし赤色ゾーンを示したら6時間程度の充電をします。充電状況の確認は、100Vコンセントを抜いた上でバッテリーメーターを見ます。緑色ゾーンの上限まで針が振れば満充電です。

キャンピングカーを使用しないで置いておくだけでもバッテリーの自然放電もありサブバッテリーの電気量は減少します。

出発前には必ず満充電にしてください。

5. LPガスボンベの確認………十分な残量があるか

使用予定量に見合った残量の有無を確認する。

残量の測定の仕方は、LPボンベの重量をはかり、それから容器の重さ約7kgを差し引くとです。

使用量の目安は

クリーンヒーター 336g/時間 (バーナー燃焼時)

ウォーターヒーター 200g/時間 (同上)

2バーナーガスコンロ 250g/時間

冷蔵庫 10g/時間

冬場のキャンプではクリーンヒーターを長時間作動させることになり、1日2KG前後の使用量になります。

夏場やクリーンヒーターを使わない季節では1日1KG程度を目安にして下さい。

なおLPガスはユーザーの使い方次第で使用量が大きく変わります。

出かける前にボンベを満タンに充填(5KG)しておけばキャンプ中に既でにどの位使ったかを憶えておけば、逆算しておおよその残量が掴め安心してキャンプが出来ます。

6. LPボンベの元栓を閉める。

7. 自動車部分については、「トヨタトラック取扱説明書」に沿って作業点検をおこなって下さい。

## 33 走行中

---

1. 冷蔵庫はDC12Vで動作させます。

サブバッテリーよりDC12Vが冷蔵庫に供給されるようになっています。FUEL SELECTION スイッチを'12V'にして下さい。

LPガスでの使用は絶対にしないで下さい。

2. 空調機器の使い方

フロント（運転席）のエアコン及びヒーターは一般の自動車と同様に使用できます。（詳しくは「トヨタトラック取扱説明書」参照）。

クリーンヒーター（LPガス使用）は走行中絶対使用しないで下さい。

3. 走行中のバッテリーへの充電

通常の走行では自動車用のメインバッテリーとキャンパー部用のサブバッテリーの双方に充電をします。

但し、冬期や真夏の夜間など冷暖房を強く使い内外の照明器具を点灯し、且つカーステレオを大音量で鳴らすなどが重なると発電した電気の多くがそれらにとられ、充電に向けられなくなる場合があります。従ってサブバッテリーに対して出発前の満充電を必ずおこなう必要があります。

4. 走行中はLPガス機器は一切使用しないで下さい。

LPポンペの元栓を必ず閉めて走行してください。

5. エンジン停止時は12V冷蔵庫のスイッチをOFFして下さい。

（そのままONした状態ですとバッテリーの消費が多く、サブバッテリーが上がってしまいます。）

## 34 キャンプ地に到着したら

---

1. エンジンを停止したら、冷蔵庫をLPガスに切り換えて下さい。  
(ACがとれる時にはACに切り換える)  
ガスの元栓を開き、集中パネルのLPスイッチをONにしてから冷蔵庫のFUEL SELECTIONスイッチを'GAS'に合わせ、点火します。  
(点火方法の詳細はP34頁)
2. サブバッテリーの残容量をチェックする。  
バッテリーメーターが緑色ゾーンの中央より上側であれば問題はありませんが、下側だったり赤色ゾーンのときには充電してください。  
充電は(1)エンジンをかける (2)外部AC電源をとるのどちらかでおこないます。

## 35 キャンプ中

---

1. 機器・器具はこまめにオンオフして使う。  
自然とのふれあいを通して大いに楽しいひとときを過ごしてください。  
ちょっと待って、その前に、  
忘れないでください、装備機器・器具のスイッチOFFを  
AC電源のないところでは冷蔵庫はキャンプ中、四六時中LPガスで冷却しますが、ガス消費量はごく少量で特に問題はありません。  
むしろLPアラームシステムを作動させておくための電気の消費量が常に約1アンペアあり、バッテリーには負担になります。  
従って、他の電気機器・器具は必要の時だけスイッチをいれて、用が済んだらすぐに切るようにしてください。  
くれぐれも切り忘れのないようお願いします。

2. バッテリーチェックをときどき行う。

赤色ゾーンになったら、充電する。

サブバッテリーは115Aと大容量のものを搭載していますが、限りがあります、使い方にもよりますが走行せずに停泊する場合1~2回の充電をする必要があるかも知れません。

3. クリーンヒーターは就寝中も使えます。(但し、窓、ベンチレーターなど完全にしめきった状態ではときどき換気の必要があります)

スキー場などでキャンプする場合、20℃前後にセットしておけば寒さを忘れ快適におやすみになれます。

ガスの消費量はバーナー燃焼時で1時間当たり336gですが、実際には間欠燃焼するので、一晩で1kg程度かと思われれます。(外気温や設定温度によって変わります)

電気の消費量は、ファンが回っているとき約3アンペア流れますが、これも間欠作動なので、一晩で15Ah程度です。

事前事後のバッテリーチェックを行い、補充電をしておけば問題ありません。

## 36 帰途

---

1. 冷蔵庫の電源をDC12Vに切り換える。
2. LPガスボンベの元栓を閉める。
3. 使用済みの機器・器具類のスイッチやコックを閉じる。  
集中パネルの各スイッチがOFFになっていることを確認する。
4. 排水タンク内の水を捨てる。

## 37 帰宅したら

---

1. 給水タンク内の水を排水する。  
同時に配管内の水及びウォーターヒーター内の水も抜きます。
2. 排水タンク内の水を捨てる。
3. 冷蔵庫内の食品を取り出し自宅の冷蔵庫に収納する。
4. サブバッテリーの残量をチェックする。  
万一赤色ゾーン以下の時には、AC電源で充電しておきます。
5. 使用済み機器・器具類のスイッチやコックを閉じる。  
集中パネルの各スイッチがすべてOFFになっていることを確認する。

## 38 夏のキャンプでとくに気を付ける事柄

---

### 1. 冷蔵庫は日陰に

夏は外気温が高く、使用頻度も多いことから冷却効率が落ちます。

とくに背面のルーバー部は、直射日光が当たらないようにし、風通しのよい場所を選んで下さい。

## 39 冬のキャンプでとくに気を付ける事柄

---

### 1. 夜間走行時、バッテリー充放電に注意

冬の夜間はヒーター、ヘッドライトをつけ、カーステレオや雨雪のためのワイパーを使ったりします。キャンパー部では冷蔵庫、ヒーター、室内灯などで電気を使います。

走行中はエンジンによって発電されますが走行条件によっては、発電量よりも使用量の方が大きくなり、バッテリー（メイン、サブとも）に充電せず逆に放電する状態になります。

このようなことは特に極端でない限り問題ではありませんが、現地に着いた時にサブバッテリーが満充電から若干減少しているということが起こりえます。

現地に着いたら念のためバッテリーメーターでチェックして下さい。

### 2. 給水タンク、水配管の水抜きをしておく。

外気温が零℃以下になる時は給水タンク及び水配管内の水は凍結します。厳寒期は凍結事故防止のため水抜きをして使用しないようにしたほうが良いと思われれます。

### 3. LPポンベの保温 極端な寒冷時

厳寒期や高地では、ガスの気化やレギュレーターの作動が正常でなくなり、ガスが供給されなくなる場合もあります。毛布などでポンベとレギュレーターを包み保温して下さい。



## 40 強風雨時の注意事項

---

### 1. 出来るだけ風雨を避ける

窓枠レール部には構造上水が入りますが、通常は外側に設けられた排水口から車外に流出します。

風雨の強い時には、これが間に合わず室内に流入する恐れがあります。車内の位置や向きを変えるなど、出来るだけ風雨を避けるようにして下さい。

## 41 その他 ときどきチェックしておく事柄

---

### 1. 冷蔵庫裏側のチェック・清掃

冷蔵庫はその特性上、裏側の通気が必要なため背面にルーバーがあります。

これらから風雨の際に雨水や枯れ葉などが吹き込みますので、ときどきルーバーを開いて清掃してください。

ベンチレーター網の目詰まりも取り除いて下さい。

### 2. サブバッテリーの残量をチェックする。

万一赤色ゾーン以下の時には、AC電源で補充電しておきます。

## 42 日頃の点検整備

---

キャンパー部に関してユーザーが日頃おこなう点検・整備は以下の事柄です。

1. サブバッテリーの残容量チェックおよび補充電
2. 各機器・器具の作動チェック
3. LPガスボンベまわりの固定・装着状況チェック
4. 給水・排水タンクまわりの水漏れチェック、水抜き。
5. 冷蔵庫背面の通気状況チェックおよび清掃

## 43 長期間使用しない時の手入れ

---

長期間使用しない時、キャンパー部に関して下記の手入れをしてください。

1. サブバッテリーの残容量チェックおよび補充電……時々おこないます。
2. 給水・排水タンク、水配管及びウォーターヒーター内の水抜き。

## 44 故障かなと思った時の点検、処置

### 1. 'LP' スイッチを入れるとガス漏れ警報器が警報音を発する。

使用しなかった間に、室内の接着剤や塗料のガス成分がセンサーに付着していると、スイッチを入れた時それを感知して警報音を発します。

そのようなときには、一旦スイッチを切って同じ動作を何度かくり返すと正常に作動するようになります。

### 2. クリーンヒーターが作動しない

#### 1) バーナーが燃焼しない場合

スイッチを入れてファンがまわり、しばらくしてもバーナーが燃焼しないときには、スイッチを一旦切り点火操作をやり直してください。

これは長期間使わず、その間にLPポンベを取り替えたりした場合に、ガス配管内に空気が混入してしまうためです。

オンオフを繰り返すことでエアアーが押し出され正常に作動するようになります。

#### 2) ファンが回らない場合

スイッチをオンにしてもファンが回らない時には、バックパネル内のリセットボタンを押し込んでください。

これは何らかの理由で、安全のためにヒーター内のブレーカーが働き電気を遮断していることが原因です。

リセットボタンが飛び出しているのを、それを押し込むと電気が供給されるようになります。この後スイッチを入れればファンは回ります。

### 3. 水が蛇口から出てこない

'W/PUMP' スイッチを入れて蛇口を開いても、ポンプの回る音はするが水が出てこないことがあります。

これは長期間水を使わなかった時とか、水抜きあるいは水を使いきった後などに、あらかじめ給水タンクに注水した時には、空気が配管内に入り水がなかなか出てこない事が起こります。

このような時には、しばらく蛇口を開いたまま水が出てくるまでポンプの作動を続けて下さい。

#### 4. 冷蔵庫が冷えない

冷蔵庫は使いはじめは外気温と同じ温度から冷やしていくので、なかなか冷えません。

A C100Vを使って気温20℃の時に、庫内の温度が5℃以下になるのには5時間程度かかります。

特に、夏期出発前にあらかじめ冷やしておかず走行時作動(D C12V)で冷やした場合はさらに時間がかかります。

庫内に入れる品物の温度や量によっても変わります。

冷えが悪いときには、下記の点をチェックしてください。

1) 出発前に必ず予冷をおこなう……車両を水平に置いて下さい。

季節にもよりますが夏期にはA C100Vで10時間以上必要と思われれます。

2) D C12V(走行時)はA C100VやL Pガスに比べて冷却能力が低いので庫内に入れる品物も出発前に冷やししておくことをお勧めします。

3) キャンプ地に着いたら、すぐにL PガスもしくはA C100Vに切り換えます。

その際、水平の確認、背面に直射日光が当たらないことに注意して下さい。

4) 背面の通風も大切です。ルーバーから外気が入り空気が抜けることが必要です。

障害物がないことや、ルーバーが枯れ葉などで目詰まりしてないかどうかのチェックをしてください。

#### 5. サブバッテリーが上がったら

万一、サブバッテリーが上がってしまったら、車のエンジンを作動させる方法かA C電源がとれる場合には、A C-D Cコンバーターから充電します。

サブバッテリーはこまめにチェックし、赤色ゾーンになったら、早目に充電するようにして下さい。

**SO-JIL CO., LTD.**

■本社・ショールーム／愛知県豊橋市浜道町百々池45-37 ☎ 0532-46-7823(代)  
■豊橋第2工場／愛知県豊橋市浜道町百々池24-2 ☎ 0532-48-1930  
■豊橋第3工場／愛知県豊橋市天伯町竜ヶ丘110-1 ☎ 0532-47-7161